

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	ノリタケ クッションマット
会社名	クラレノリタケデンタル株式会社
住所	東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー
担当部署	品質保証室
電話番号	03-6701-1730
Fax番号	03-6701-1805
緊急連絡先	0120-330-922 (月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00) 050-3499-2717 (上記フリーダイヤル営業時間外)
推奨用途および使用上の制限	ノリタケ ポーセレンマットの関連品
整理番号	1000-000007

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険	GHS分類に該当する項目はない
健康に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない

シンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし
他の危険有害性	眼、皮膚などに触れたとき、一過性の機械的刺激を生じることがある。 粉塵を長期にわたり多量に吸入したとき、呼吸器への影響を生じるおそれがある。

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名	濃度 (%)	CAS番号	化審法 公示番号	安衛法(閾値)		PRTR法 管理番号	毒劇法
				表示	通知		
アルミナファイバー	100	675106-31-7	-	≥1%	≥1%	非該当	非該当

### 4. 応急措置

吸入した場合	気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水又は微温湯で流し落としのち、石鹸でよく洗う。痛みが残ったり、なにか症状のあるときは、医師の診察を受ける。
眼に入った場合	異物感がなくなるまで、流水で洗浄する。眼をこすってはならない。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	気分が悪いときは、医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	情報なし(不燃性)
特有の危険有害性	特になし
特有の消火方法	情報なし

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
保護具および緊急措置	情報なし
環境に対する注意事項	情報なし
回収・中和	情報なし
封じ込め及び浄化方法・機材	適応される規制に従って廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

安全取扱い注意事項	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の適切な保護具を着用する。 粉塵が拡散するのを防止するために、屋内の取扱い作業所には、必要に応じ、局所排気装置等の対策を講じる。 粉塵の飛散を防止することができない場合には、防塵マスクを着用する。 眼、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具を着用する。 水濡れ注意 作業衣などに付着した場合は、よく取り除く。 取扱い後は、うがい及び手洗いを励行する。 本品に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある作業者は使用しない。
-----------	--

### 保管

保管条件	直射日光を避け、冷所に保管する。 水濡れ注意 容器を密閉して保管する。
容器包装材料	オリジナルの容器に保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 (作業環境評価基準)	アルミナファイバー : 質量濃度(吸入性粉塵)…3.0 mg/m <sup>3</sup>
許容濃度	日本産業衛生学会 情報なし ACGIH 情報なし
設備対策	粉塵の飛散源を密閉にするか局所排気装置、除塵装置を設置する。 設置することが困難な場合は下記に定める保護具を使用すること。
保護具	呼吸用保護具 作業環境中の濃度が、上記の基準を超えるおそれのある場合は、防塵マスクを着用する。 手の保護具 保護手袋を着用する。 眼、顔面の保護具 ゴーグル、サイドシール付き保護眼鏡など作業に適した保護具を使用する。 皮膚及び身体の保護具 保護衣を着用する。
衛生対策	取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体(ウール状、繊維)
色	白色
臭い	なし
融点・凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし

## 溶解度

水	不溶
有機溶剤	不溶
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	3-4 g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他のデータ(放射性、かさ密度、 燃焼持続性)	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の手扱いは安定。
化学的安定性	通常の手扱いは安定。
危険有害反応可能性	通常の手扱いは安定。
避けるべき条件	特になし
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11. 有害性情報

### 成分の有害性情報

#### 急性毒性

経口	情報なし
経皮	情報なし
吸入	情報なし

#### 皮膚腐食性/刺激性

アルミナファイバー：区分外(かゆみや紅班を生じることがあるが、一過性で慢性障害を生じることはない)

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

アルミナファイバー：区分外(物理的な刺激作用あり)

#### 呼吸器感受性

情報なし

#### 皮膚感受性

情報なし

#### 生殖細胞変異原性

情報なし

#### 発がん性

アルミナファイバー：区分外(EU及びIARCの人工鉱物繊維(アルミナファイバー)の分類では発がん性の分類の記載がない)

#### 生殖毒性

情報なし

#### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

情報なし

#### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

情報なし

#### 誤えん有害性

アルミナファイバー：区分外(発生する粉塵中に吸入性繊維が含まれるので長期間にわたり大量に吸入すると呼吸器系の障害のおそれが考えられているが、現在においてはアルミナファイバーの取扱いにおいてこれに起因した障害が発生したことは報告されていない)

## 12. 環境影響情報

### 成分の環境有害性情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

### 13. 廃棄上の注意

#### 残余廃棄物

廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

#### 汚染容器及び包装

容器は関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。  
UN No. : 該当しない  
Proper Shipping Name : -  
Class : -  
Packing Group : -  
航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。  
UN No. : 該当しない  
Proper Shipping Name : -  
Class : -  
Packing Group : -

#### 国内規制

陸上輸送情報 : 該当する法律に従う。  
海上輸送情報 : 船舶安全法に従う。(IMOに準拠)  
航空輸送情報 : 航空法に従う。(ICAOに準拠)

#### 特別安全対策

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。  
危険性はないが、輸送中の包装の破損などによって粉塵が飛散しないように注意する。  
直射日光を避けて輸送する。

#### 緊急時応急措置指針番号

—

### 15. 適用法令

#### 化審法

特段規制なし

#### 安衛法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 : アルミナファイバー(人造鉱物繊維) (固形物のため、表示は適用除外)  
粉塵障害防止規則:アルミナファイバー(鉱物:別表1の第6号、第8号、第19号)

#### 化管法(PRTR法)

非該当

#### 毒劇法

非該当

#### 消防法

非該当

#### じん肺法

製品を使用し粉塵が発生する場合別表第1第7号(粉塵作業)に該当 : アルミナファイバー

### 16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。